

旧国名 と 現都道府県

旧国名とは、かつて律令制に基づいて設置されていた日本の地方行政区分。

「五畿七道」（ごきしちどう）といわれるように大和、山城、河内、摂津、和泉の畿内の5国を中心に、東海道、東山道、北陸道、山陰道、山陽道、南海道、西海道の7道から成っていた。その後北海道が新設されてからは「五畿八道」と呼ばれる。

現在の都道府県の形に整理されたのは1943年。1947年に地方自治法が制定されて地方公共団体として位置づけられ、1972年に沖縄が返還されて現在の「1都1道2府43県」となる。この歴史は意外に浅い。

河川名、山脈、半島名などの多くは、旧国名にちなんだ名前がついています。信濃川、相模灘、奥羽山脈、能登半島、伊豆半島、駿河灘、豊後水道……。他にも、「尾張名古屋は城で持つ」「信濃そば」「甲斐の虎」「阿波踊り」「豊後アジ」「因幡の白ウサギ」「加賀百万石」……。路線名、駅名、会社名、商品名、車のナンバープレートなど様々なところに旧国名が残っています。

旧国名を覚えると、日本がよりおもしろく見えてくるかも知れません。

<関東地方の旧国名>

旧国名の読みは意外と難しい



旧国名と現都道府県 対照表

	旧国名 (よみ)	現都道府県
北海道	北見 (きたみ)	北海道
	天塩 (てしお)	北海道
	石狩 (いしかり)	北海道
	後志 (しりべし)	北海道
	胆振 (いぶり)	北海道
	日高 (ひだか)	北海道
	十勝 (とがち)	北海道
	釧路 (くしろ)	北海道
	根室 (ねむろ)	北海道
	千島 (ちしま)	北海道
	渡島 (おしま)	北海道
	東山道	陸奥 (むつ)
羽後 (うご)		秋田・山形
陸中 (りくちゅう)		秋田・岩手
羽前 (うぜん)		山形
陸前 (りくぜん)		岩手・宮城
岩代 (いわしろ)		福島
磐城 (いわき)		宮城・福島
下野 (しもつけ)		栃木
上野 (こうずけ)		群馬
信濃 (しなの)		長野
飛騨 (ひだ)		岐阜
美濃 (みの)		岐阜
近江 (おうみ)		滋賀
北陸道		佐渡 (さど)
	越後 (えちご)	新潟
	越中 (えっちゅう)	富山
	能登 (のと)	石川
	加賀 (かが)	石川
	越前 (えちぜん)	福井
	若狭 (わかさ)	福井

	旧国名 (よみ)	現都道府県
東海道	常陸 (ひたち)	茨城
	下総 (しもうさ)	茨城・千葉
	上総 (かずさ)	千葉
	安房 (あわ)	千葉
	武蔵 (むさし)	埼玉・東京・神奈川
	相模 (さがみ)	神奈川
	甲斐 (かい)	山梨
	伊豆 (いず)	静岡
	駿河 (するが)	静岡
	遠江 (とおとうみ)	静岡
	三河 (みかわ)	愛知
	尾張 (おわり)	愛知
	伊賀 (いが)	三重
	伊勢 (いせ)	三重
志摩 (しま)	三重	
畿内	山城 (やましろ)	京都
	大和 (やまと)	奈良
	河内 (かわち)	大阪
	摂津 (せっつ)	大阪・兵庫
	和泉 (いずみ)	大阪
山陰道	丹後 (たんご)	京都
	丹波 (たんば)	京都・兵庫
	但馬 (たじま)	兵庫
	因幡 (いなば)	鳥取
	伯耆 (ほうき)	鳥取
	出雲 (いずも)	島根
	石見 (いわみ)	島根
隠岐 (おき)	島根	

	旧国名（よみ）	現都道府県
山陽道	播磨（はりま）	兵庫
	美作（みまさか）	岡山
	備前（びぜん）	岡山
	備中（びっちゅう）	岡山
	備後（びんご）	広島
	安芸（あき）	広島
	周防（すおう）	山口
	長門（ながと）	山口
南海道	紀伊（きい）	三重・和歌山
	淡路（あわじ）	兵庫
	讃岐（さぬき）	香川
	阿波（あわ）	徳島
	伊予（いよ）	愛媛
	土佐（とさ）	高知
西海道	豊前（ぶぜん）	福岡・大分
	筑前（ちくぜん）	福岡
	肥前（ひぜん）	佐賀・長崎
	筑後（ちくご）	福岡
	豊後（ぶんご）	大分
	肥後（ひご）	熊本
	日向（ひゅうが）	宮崎
	薩摩（さつま）	鹿児島
	大隅（おおすみ）	鹿児島
	対馬（つしま）	長崎
	壱岐（いき）	長崎
	琉球 （りゅうきゅう）	沖縄

概要

令制国が行政体として機能しなくなってからも、その名称と区画は地理区分として長く用いられてきたが、明治以降は、戸籍や郵便などの地名表記から外されたため、急速に廃れることとなった。

現代では、離れたところにある同じ地名を区別する際に用いられたり、府県名が郡名や都市名で代用したものが大半であるため、それで呼ぶことを嫌う場合や地域において用いられている。たとえば、長野県を県庁所在地である長野市が所在する北信地方以外では意識的に「信濃」あるいは「信州」と呼ぶケースがある。

「旧」と付くが、それに代わる新しい国名というものがあるわけではない。国家としての国名との混同を避ける、もしくは戸籍や郵便などの地名の表記において、府県名が令制国名に代わるもののように使用されたために、そう呼ばれているだけである。ちなみに府県は藩に代わるものである（廃藩置県）。

また、法令によって廃止・禁止されたわけでもないのに、現在も当然使用可能であり、「旧」と付ける必要もない。

国と県の関係は地域により様々で、複数の国にまたがる県（静岡県・三重県・兵庫県など）と、複数の県にまたがる国（武蔵国・丹波国・肥前国など）の両方がある。国と県の範囲が一致するところ、国を分断する形で県境が引かれたところもある。

旧国名は歴史と伝統のイメージを備えているので、観光宣伝や郷土愛を喚起する場面で用いられることがある。

（Wikipedia より）